

2糸経第1169号
令和3年3月22日

糸島市長 月形 祐二 様

糸島市土地利用計画審議会
会長 辰巳 浩

第2次糸島市国土利用計画について（答申）

令和2年8月5日付2糸経第380号で諮問のありました糸島市国土利用計画について、慎重に審議を重ねた結果、以下のとおり答申します。

少子高齢社会の本格化、経済の成熟化、環境意識の高まりなど、市土利用を巡る経済、社会の情勢を見据え、当審議会では、第2次糸島市長期総合計画に掲げる将来像の実現に向けた基本方針に基づき、有限な資源である市土の有効利用と保全に努めることを基本として、本市の個性を発揮できる計画になるよう審議を重ねて参りました。

答申に当たっては、本計画が市土の利用に関する全ての計画の指針であることを踏まえ、市土を6つの地域に区分し、九州大学伊都キャンパスの移転完了、JR筑肥線や西九州自動車道などによる利便性の高い地域の住宅、製造・物流施設や研究・開発施設用地などの需要の高まりや、自然景観・環境の保全、コミュニティの維持・活性化、観光・レクリエーションなどによる交流促進など、それぞれの地域の特性に応じた土地利用に配慮しました。

さらに、本計画は市が実施したパブリックコメントの市民意見を反映するとともに、県との協議を行い取りまとめたものであり、地域の特性を活かした土地利用の指針となるものと考えております。

貴職におかれましては、関連する施策の展開に際してこの答申が十分反映されるよう要望します。

以上